

## 公益財団法人万有生命科学振興国際交流財団 ＜平成 24 年度事業計画書＞

当財団は、万有製薬株式会社の CSR として始まった活動を、より継続的、発展的に運営するために平成 14 年に設立され、次世代を担っていただく研究者、医師、そして国際的なリーダーの育成を支援してまいりました。これまでの数多くの研究者への留学/研究サポート、また、研究者育成に繋がるシンポジウムの開催等の活動が評価され、平成 23 年 4 月には公益財団法人としての認定を取得することができました。

当財団設立 10 周年を迎える節目である本年は、次のとおり、これまでの事業の継続に加えて新規の事業へ取り組みます。

### 公益目的事業：

#### 1. 生命科学研究の奨励を目的とした助成

##### ＜研究助成 (Banyu Foundation Research Grant) ＞

###### ・生活習慣病領域・・・平成 22 年度より継続

- 1) 目的： 近年、増加している生活習慣病関連の研究に助成を行い、日本の内科系基礎・臨床分野における研究進展と優秀な人材の育成を支援する。
- 2) 対象： 生活習慣病領域（循環器分野・動脈硬化分野・糖尿病分野）40 歳以下の研究者
- 3) 内容： ①20 名程度に助成金 100 万円/年×2 年を交付する。  
②平成 22 年度交付者の中から特に優秀な成果をあげた研究者に対して、「万有医学奨励賞」として「最優秀賞（300 万円）」1 名、「優秀賞（100 万円）」5 名程度の追加助成及び表彰を行う。
- 4) 活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配付、学会展示ほか）、選考委員会の実施、研究助成金（研究助成、追加助成）の交付等

###### ・震災研究支援・・・新規

- 1) 目的： 東日本大震災による健康障害の調査を伴う研究に助成し、震災に伴う健康障害の予防・治療に関するエビデンス構築を支援する。
- 2) 対象： 東日本大震災による健康障害の調査を伴う予防・治療に関する研究を実施、または、計画している研究者
- 3) 内容： ①総額 1,200 万円/年（助成金 200 万円/年 6 件を 3 年間交付する。）  
②3 年後の成果報告から、その後も研究支援が必要と考えられる研究に対しては追加助成（3 年程度）を行う。
- 4) 活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配付ほか）、選考委員会の実施、研究助成金の交付等

・女性研究者支援・・・新規

- 1) 目的： 女性研究者の支援、異分野連携型研究の推進を目指し、研究助成を行う。日本の生命科学分野における研究進展と優秀な女性研究者の育成を支援する。
- 2) 対象： 感染症（ワクチンを含む）に関する研究課題について、異分野連携型研究を行う40歳以下の女性研究者
- 3) 内容： ①総額600万円/年（助成金100万円/年6件を2年間交付する。）  
②2年後に特に優秀な成果をあげた研究者に対して、追加助成を行う。
- 4) 活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配付ほか）、選考委員会の実施、研究助成金の交付等

<海外留学助成 (Banyu Fellowship Program) >

・循環器領域・・・ 設立当初より継続

・疫学・生物統計学領域・・・ 平成15年度より継続（前年度で募集終了）

・呼吸器・アレルギー領域・・・平成22年度より継続

- 1) 目的： 若手研究者の海外留学を助成し、優秀な研究者の育成を図る。
- 2) 対象： 循環器領域、疫学・生物統計学領域、呼吸器・アレルギー領域 40歳未満の研究者
- 3) 内容： a)循環器領域： 総額2,000万円/年  
(助成金400万円/年5件を1年間交付する。)  
b)疫学・生物統計学領域： 総額900万円/年  
(助成金300万円/年3件を2年間交付する。)  
c)呼吸器・アレルギー領域：総額900万円/年  
(助成金300万円/年3件を2年間交付する。)
- 4) 活動： ①循環器領域、呼吸器・アレルギー領域については、募集要項の作成、公募（ホームページ、ポスター配付、学会展示ほか）、選考委員会の実施、助成金の交付等  
②疫学・生物統計学領域については、今年度の新たな募集は行わず、既に決定した交付者への助成金交付のみを行う。

<Banyu Chemist Award (BCA) 2012 & Lectureship Award MBLA 2012>

・ Lectureship Award MBLA・・・平成16年度より継続

・ Banyu Chemist Award (BCA)・・・平成21年度より継続

- 1) 目的： 優秀な研究者を選抜し研究交流の機会を与えることにより、有機合成化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 対象： 有機合成化学分野 40歳未満の研究者
- 3) 内容： 優秀な若手研究者を「Lectureship Award MBLA」1名、「Banyu Chemist Award (BCA)」5名程度選出する。「Lectureship Award MBLA」受賞者へは、海外の一流研究機関を巡る講演ツアーを助成し、当財団の関連シンポジウムにおいても講演機会を与える。
- 4) 活動： 募集要項の作成、公募（ホームページ、学会誌ほか）、選考委員会の実施、米国の大学・研究機関における講演ツアーの助成等

## 2. 研究者の育成を目的とした生命科学に関する講演会の開催並びに助成

<有機合成化学分野における学術講演会の開催並びに助成>

・ 大津会議・・・平成 22 年度より継続

・ その他・・・設立当初より継続

- 1) 目的： 講演会の開催並びに助成により、薬学、農学、工学、理学など関連学部の学生並びに若手研究者の育成と学術知識の普及を図る。
- 2) 対象： 大学及び大学院の学生他
- 3) 活動： 講演会の開催並びに助成、組織委員会等企画会議の開催
  - ①万有札幌シンポジウム
  - ②万有仙台シンポジウム
  - ③万有福岡シンポジウム
  - ④名古屋メダルセミナー
  - ⑤大津会議

## 3. 国際交流を担うべき人材育成に係わる助成

<青少年国際交流助成・・・設立当初より継続>

- 1) 目的： 青少年の健全な育成並びに国際交流を目的としたイベントに助成することで、将来を担う国際的な人材の育成を図る。
- 2) 対象： 国内外の中学生、高校生を対象としたキャンプ
- 3) 活動： NPO 法人「環太平洋学生キャンプ」への支援

## 4. 生命科学分野の研究者に対する褒賞（新規）

<Banyu Foundation Award（仮称）・・・新規>

- 1) 目的： 当財団設立 10 周年を記念して創設し、わが国の生命科学分野において健康増進、疾病予防及び治療に関する基礎・臨床分野の研究進展に顕著な功績があった研究者を褒賞する。
- 2) 対象： 生命科学研究の進歩発展に顕著な功績があり、今後活躍が期待できる研究者
- 3) 内容： ①「Banyu Foundation Award（仮称）」（副賞 1,000 万円程度）を授与する。  
②受賞講演を行う。
- 4) 活動： 平成 24 年度は、平成 25 年 4 月から表彰候補者の推薦受付を実施するための準備期間とする（選考委員の選出及び依頼、選考手順書の作成、推薦を依頼する学会などへの趣旨説明、選考準備会の開催）

以上